

近江商人論 ～多様な商人とその活動～

授業の目的と概要

この授業では、江戸時代から近代以降にかけての商業・経済の中で、大きな歴史的役割を果たした存在である「近江商人」について、その経営の特色から文化的な活動を含めて幅広く学ぶ。

近江商人に関する概要を説明し、さらに代表的な近江商人である中井源左衛門家や、蝦夷地（現在の北海道）に進出した西川伝右衛門家などといった代表的な商家を取り上げて、その経済および文化活動について具体的に説明する。授業では附属史料館で収蔵する豊富な近江商人関連史料などの画像を用いながら解説し、歴史を体感的に学習することができる。

担当教員	経済学部 青柳 周一 教授
開講曜限	火曜日 4限 (14:30～16:00)
開講日	4月8、15、22、29
	5月13、20、27
	6月3、10、17、24
	7月1、8、15、22
会場	彦根キャンパス
受講形態	対面授業
教科書情報 (補足)	<p>教材：授業は毎回配布するレジュメに従って進める。上に挙げた参考書はすべて図書館にあるので、適宜復習などに活用すること。</p> <p>参考書：『近江商人中井家の研究』／江頭恒治著、雄山閣、1992。『近江日野の歴史 第7巻（日野商人編）』／日野町史編さん委員会 編、日野町、2012。『近江商人：現代を生き抜くビジネスの指針』／末永國紀著、中央公論新社、2000。</p> <p>参考文献一覧：授業内容と関わる歴史的な事項については『国史大事典』ほか歴史辞書類を参照。図書館で閲覧するか、Japanknowledge Libでも検索できる。</p>